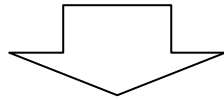


戦略 14 : 「おもてなし都市」の形成による新たなにぎわいの創出

10年後の八王子の姿

- ・産業交流拠点の整備を契機に、多摩地区を代表する「おもてなし都市」として、まちは多くの来街者でにぎわっている。



活かすべき資源

- ・商業、製造業、農業、観光業など多様な産業集積
- ・東京都が整備を計画している産業交流拠点
- ・匠のワザを持つ人材
- ・23 大学等と 11 万人の学生
- ・豊富な自然と文化、歴史
- ・オリンパスホール八王子等の施設

戦略の内容

①コンベンションやイベントの誘致と受入体制の構築

- ・「MICE都市推進センター(仮称)」〔コンベンションビューロー〕の設置

②ニューツーリズムのしくみづくり

- ・環境ツアー、農業体験や工場見学、ものづくり体験、歴史探索ツアー、花見ツアーなど、八王子の資源を活かした企画の構築・仕掛けづくり
- ・メニューのコーディネート

③情報発信

- ・「八王子インフォメーションセンター」、観光・まちなか案内所（八王子駅南口総合事務所内）、高尾山口駅前の観光案内所等を中心とした、市民協働による案内・情報発信での八王子全体の「おもてなし力」の向上
- ・産業交流拠点を活用した情報発信
- ・ソーシャルメディアの活用による情報発信やまちなかの案内

④おもてなし人材を育成

- ・商業、観光、農業等各分野において「おもてなし」について学ぶためのしくみづくり

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

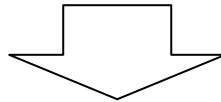
戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
①コンベンションやイベントの誘致と受入体制の構築	・MICE都市推進センター(仮称)設立に向けた調査	・MICE都市推進センター(仮称)設立に向けた準備と設立、運営	・MICE都市推進センターの運営	

②ニューツーリズムのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした企画の構築・仕掛けづくり 		<ul style="list-style-type: none"> ・他団体との連携・サポートによる実施 	
③情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信体制の整備 ・「はちおうじまちナビ」による中心市街地のまちなか情報、観光情報の発信の充実と対象エリアの拡大 		<ul style="list-style-type: none"> ・整備を活かした積極的な情報発信 	
④おもてなし人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの人材育成の仕組みづくり 		<div data-bbox="887 656 1254 719" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; text-align: center; padding: 2px;"> 順次拡大 </div>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアガイドの公募と人材の育成 		<div data-bbox="887 806 1254 869" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; text-align: center; padding: 2px;"> 順次拡大 </div>	

戦略 15 : 中心市街地活性化の推進

10年後の八王子の姿

- ・買い物やビジネス、イベント、コンベンション等で訪れる来街者が、魅力ある店舗や花や緑のあふれる美しい街並みにひかれて、歩いて回りたくなるような中心市街地となつてにぎわっている。



活かすべき資源

- ・意欲の高い商店街
- ・一般社団法人まちづくり八王子
- ・文化と歴史
- ・専門性の高い魅力ある個店
- ・イベントの集客力
- ・空店舗、空フロア
- ・23 大学等と 11 万人の学生
- ・増加するまちなか居住者

戦略の内容

- ① 来街者が安全・安心に、楽しく回遊する仕組の構築
 - ・中心市街地の文化や歴史、専門性の高い魅力ある個店、楽しいイベント等々を来街者に効果的にアピールする仕組みを構築するとともに、憩いや賑わいを創出するための広場の整備や、歩きやすい歩道、緑やベンチ等の休めるスペースを配置して楽しく安全・安心に回遊できるよう促進する。
 - ・今後推進していく駅周辺のハード整備や道路整備と相乗効果を図れるような景観整備やリノベーション等まちの魅力づくりの支援をする。
- ② 若者や学生を始めとした多世代が中心市街地に集える仕組みを構築
 - ・11 万人の学生、中心市街地及び周辺地区に多く居住する若者世代が、中心市街地に魅力を感じ、集える仕組みを構築する。
- ③ 空店舗、空フロア対策の実施
 - ・店舗オーナーや地権者と協働し、空店舗、空フロアに商店街や近隣居住者が必要とする機能や店舗の立地を促進する。
 - ・開業したい人が開業しやすい仕組みの構築を促進する。
- ④ 来街者が利用しやすい駐車・駐輪環境を整備
 - ・駅前共通駐車券の普及や、民間駐車場と市営駐車場の連携を強化することで、自動車で訪れる来街者が利用しやすい環境を整備する。
- ⑤ 中心市街地活性化の担い手になる組織や人の支援

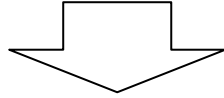
【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
①来街者が安全・安心に、楽しく回遊する仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子まちナビの普及促進 ・まちなか情報誌、店舗紹介マップ等々の作成支援 ・中心市街地の回遊性を促進するイベントの支援 ・八王子駅北口インフォメーションセンターや観光・まちなか案内所による情報発信 ・「まちの魅力づくり」に対する国・都等の補助事業活用の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 独立運営・エリア拡大 		
②若者や学生を始めとした多世代が中心市街地に集える仕組みを構築	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりを主体的に行える若手人材の掘り起し ・大学等と商店街が連携した事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕組みづくりの検討（ワークショップ等）と事業の実施 ・仕組みづくりの検討（ワークショップ等）と事業の実施 		
③空店舗、空フロア対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗改修補助事業の実施 ・店舗オーナー等への空き店舗・空きフロア対策協力への啓発 ・空き店舗状況の調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗と開業したい人をマッチングする仕組みの構築と運営 		
④来街者が利用しやすい駐車・駐輪環境を整備	<ul style="list-style-type: none"> ・共通駐車券普及に向けた検討 ・来街者が利用しやすい駐車・駐輪場のありかたの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通駐車券の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> 普及拡大 	
⑤中心市街地活性化の担い手になる組織や人の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人まちづくり八王子への活動支援 ・まちづくりを主体的に行える人材の掘り起し 	<ul style="list-style-type: none"> 自主運営 		

戦略 16 : 商業の振興

10年後の八王子の姿

- ・商業集積地が活性化し、活気に満ちている。
- ・魅力のある個店づくりで、商店街の競争力は高まっている。
- ・商店街が高齢者や子育て世代等の地域のニーズに対応し、コミュニティの核になっている。



活かすべき八王子の資源






- ・意欲のある商店街、継承者
- ・58万市民の購買力
- ・高速道路や鉄道などの交通インフラ
- ・魅力ある個店
- ・豊富な観光資源

戦略の内容

- ① 地域ブランド、八王子ブランドの創出により、八王子ならではの土産品の開発を推進。
 - ・高尾山のブランド力を生かした土産品や、市内業者と協力して八王子ブランドを創出し、交通インフラの強みを生かして商圏の拡大。
- ② 商店街の活性化や組織化の支援。
 - ・国や都の補助金を活用し商店街を支援し活性化をはかる。
- ③ 商店街の魅力を発信。
 - ・八王子まちナビを中心市街地から他の地域に拡大。
- ④ 商業活性化に向けた、まちづくりを主体的に行える人材の掘り起しや、後継者を含む人材育成
 - ・商業者を対象とした研修による人材育成
- ⑤ 八王子の農産物や加工品を、商店や飲食店と結ぶことにより新しい魅力を創造し、商業と農業を活性化。
- ⑥ 買い物弱者への対策等の地域ニーズを商店街の商機ととらえ販路拡大につなげる。
 - ・地域コミュニティの核として、地域課題の解決に取り組む。

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

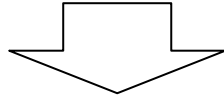
戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26~28 年度)	中期 (平成 29~31 年度)	長期 (平成 32~34 年度)
①地域ブランド、八王子ブランドの創出	・ブランドの開発	ブランド品の販売		
②商店街の活性化や組織化の支援	・国や都の補助金を活用し活性化をはかる。			
③商店街の魅力を発信		・八王子まちナビの対象エリアを拡大		

④商業活性化に向けた、後継者を含む人材育成	・商業者を対象とした研修による人材育成			
⑤八王子の農産物や加工品を、商店や飲食店と結ぶことにより新しい魅力を創造		・商業者と農業者、加工業者とのマッチング		
⑥買い物弱者対策	・商店街と検討を行う	 ・モデル事業	 ・実施	

戦略 17：観光地の魅力の向上

10年後の八王子の姿

- ・自然・文化・歴史等の豊かな観光資源が戦略的に総合化され、全国に魅力を発信している。
- ・八王子の観光情報や物産など八王子の魅力を継続して発信しているスポットがある。
- ・国内外から多くの人々が八王子に来訪している。



活かすべき資源





- ・高尾山の存在
- ・城跡（滝山城、八王子城）
- ・都心からのアクセスの良さ
- ・多くの人で賑わうイベントの存在
- ・伝統ある街
- ・文化・歴史の充実
- ・人口の多さ
- ・山里風景
- ・浅川

戦略の内容

- ① 既存の観光資源の再活用
 - ・既存の観光資源を活用した観光ルートの構築
- ② 観光拠点施設の魅力の向上
- ③ 様々な媒体を活用した観光情報の発信
 - ・多言語に対応した協働型情報発信・案内の充実
 - ・PR力のあるメディアを積極的に活用した情報発信
 - ・常設観光案内所の設置
 - ・フィルムコミッション事業の見直し
- ④ 八王子の魅力再発見
 - ・既存のイベントの再構築
- ⑤ 民間の力（学生・ボランティア等）と連携した観光案内等ホスピタリティの向上

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

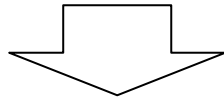
戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26～28 年度)	中期 (平成 29～31 年度)	長期 (平成 32～34 年度)
① 観光資源の再活用	・滝山観光検討会議の設置（駐車場整備を含めた観光戦略の検討）	・戦略に基づく事業計画と展開	順次実施	
② 拠点施設の魅力の向上	・たやけ小やけふれあいの里事業の再構築と計画的な修繕 ・インフォメーションセンターから発信する魅力あるコンテンツの仕組みづくりの検討と実施	順次実施		
		順次実施		

<p>③ 観光情報の発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアを活用した情報発信 ・(多言語を含む)観光案内機能の充実化 ・積極的な市外でのPRの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルムコミッション事業の見直しとFCを活かした市域情報の発信事業実施 	<p>順次実施</p>	
<p>④ 魅力の再発見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にむけた計画策定 	<p>事業の実施</p>	<p>順次実施</p>	
<p>⑤ おもてなしの心(ホスピタリティ)の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生やボランティアなど協働してくれる人の参加意欲ややる気を醸成するシステムの検討と改善 		<ul style="list-style-type: none"> ・システムを活かした協働等による実施 	

戦略 18 : 新たな観光資源の発掘・活用

10年後の八王子の姿

- ・「水」と「森」のゲートシティとして、地域の特徴を活かした観光資源を発掘し、集客力のあるフェスティバルシティとして、統一感ある新たなイベントが提案され、実施されている。
- ・様々なニーズに対応した観光サービスが提案され、産業交流拠点を中心に多くの来訪者で賑わう街が実現している。



活かすべき資源



- ・都心からのアクセスの良さ ・市を代表するイベントの存在 ・山里風景 ・伝統ある街並
- ・文化・歴史の充実 ・水と森（浅川や広域高尾の自然）

戦略の内容

- ① 新たな観光サービス
 - ・サイクルネットワークの構築と体験型観光事業や産業観光の推進
- ② 隠れた観光の魅力の発信
 - ・隠れていた様々な観光資源を結びつけ、中心市街地と広域高尾を結ぶ新たな魅力を提供・発信することで地域の活性化に寄与
 - ・フェスティバルシティとしての魅力を発信
- ③ 観光大使やフィルムコミッションを活用した、新たな観光資源の創造
- ④ 新たな拠点施設の設置

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26～28 年度)	中期 (平成 29～31 年度)	長期 (平成 32～34 年度)
① 新たな観光サービスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・観光産業振興会議の提案に基づく計画策定 ・ニューツーリズムの検討と推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興会議の報告に基づく計画の社会実験及び計画の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光産業振興会議に基づく計画の実施 	<div style="text-align: center;"> </div>
② 隠れた観光の魅力の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・観光産業振興会議の提案に基づく観光資源を整理し、観光資源を結び付けた誘客目的の取組を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源を活かした取組の検討と実施 	<div style="text-align: center;"> </div>	

③ 新たな観光資源の創造	・観光大使の再検討とPRコンテンツとしてのフィルムコミッション運営の再構築	新たなPRコンテンツとしてのフィルムコミッションの実施	→	
④ 新たな拠点施設の設置	・高尾の里拠点施設の建設着工	 ・高尾の里拠点施設の開館・運営	→	
⑤ 新たな観光コンテンツの提案・提供	・ニーズに即した新たな観光コンテンツの考察	・関係団体との新たな観光コンテンツ提案へのワークショップと実施	→	

戦略 19：都市型農業環境の整備

10年後の八王子の姿

- ・農業の担い手が確保され、安定した農業経営ができています。
- ・市街化調整区域内の農地では流動化が進み、農地が有効活用されている。
- ・山間部では、野生獣による農作物被害が減少し、安心して農作物の栽培ができています。

活かすべき資源

- ・市内農家 ・JA八王子 ・NPO法人「八王子ひよどり農業支援センター」 ・20,000社に及ぶ事業所
- ・23大学等 ・認定農業者 ・農業ボランティア ・新規就農希望者 ・警察署
- ・ボランティアによる追い払い駆除隊

戦略の内容

- ① 農業の担い手確保（市街化区域・市街化調整区域内農地）
 - ・認定農業者の認定を推進し、経営改善計画の実現に向け、国や都と連携し企業的経営感覚に優れた農業者を育成する。
 - ・高齢で農業従事が困難な状況にある農家や人手不足にある農家に対して、援農ボランティアや農作業の受託者を派遣「はちおうじ農業塾」を活用し、援農ボランティアや農作業受託者の育成を図る。
- ② 農地の有効利用（市街化調整区域内農地）
 - ・耕作放棄された未活用農地の調査、及び、貸出、借受等の希望調査の実施
 - ・認定農業者を中心に、規模拡大を望む中核農家に農地を集積し、効率的農業を推進する。
 - ・新規就農者等を対象とした農地の斡旋により農地の流動化を推進する。
- ③ 農業基盤整備（市街化区域・市街化調整区域内農地）
 - ・農地の灌漑施設の整備
 - ・農道・水路等農地関連施設の整備
- ④ 有害鳥獣被害防止策の強化（市街化調整区域内農地）
 - ・市民と共に農地を守るプロジェクトの推進（市民と協働し野生獣の住処となる山林化した農地の草刈等を行うことで、農作物被害の削減に努める。）
 - ・追い払い駆除隊（ボランティア）による農地のパトロール及び捕獲の強化
- ⑤ 農業資源を活用した、新事業の創出〔6次産業化の推進〕（市街化区域・市街化調整区域内農地）
 - ・異業種（商・工業者、企業、大学等）との連携による新たな農産品の開発
 - ・観光分野と連携し、果実の摘取農園や農産物直売所、農ある風景等を観光資源として活用
- ⑥ ふれあい農業の充実
 - ・市民農園の充実、農家の経営する体験農園の開設推進
 - ・農業者と市民との交流イベントの充実
- ⑦ 食の安全・安心の確保、地産地消の推進
 - ・都と連携し東京エコ農産物認証制度の普及推進（東京都特別栽培農産物認定制度及びエコファーマー認定制度からの移行の推進）
 - ・「道の駅八王子滝山」等農産物直売所を拠点とした地産地消の推進

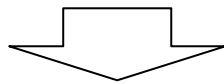
【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26～28 年度)	中期 (平成 29～31 年度)	長期 (平成 32～34 年度)
①農業の担い手確保		継続実施		
②農地の有効利用		継続実施		
③農業基盤整備		<ul style="list-style-type: none"> ・農地の灌水施設整備 (基本設計) H26 ・水路及び関連施設の整備 H26 ・農道整備(基本設計) H27 	継続実施 継続実施 継続実施	
④有害鳥獣被害防止策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と共に農地を守るプロジェクト ・ボランティアによる追い払い駆除隊員によるパトロール及び捕獲の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施予定 	継続実施 継続実施	
⑤農業資源を活用した新事業の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・異業種(商・工業者、企業、大学等)との連携による新たな農産品の開発 ・観光分野と連携し、果実の摘取農園や農産物直売所、農ある風景等を観光資源として活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・H26 実施予定 	継続実施 継続実施	
⑥ふれあい農業の充実		継続実施		
⑦食の安全・安心の確保、地産地消の推進		継続実施		

戦略 20 : 林業の再生

10年後の八王子の姿

- ・ 木材価格が安定し、本来の林業が蘇える。
- ・ 伐採時期に達した森林から木材が搬出され植栽されることになり、本来の林業事業が成り立っている。
- ・ 木材利用促進計画を策定し、公共建築物等での木材利用が図られている。
- ・ 森林経営計画での森林整備が実施されることで立木搬出が行われる。
- ・ 森林が適切に管理され、公益的機能が向上している。



活かすべき資源



- ・ 森林
- ・ 木材生産組合（製材所）
- ・ 林業研究会

戦略の内容

- ② 森林産業の創出
- ・ 公共事業による木材利用推進を行うことで木材の需要を広げる。
 - ・ 管理ができない森林は森林経営計画への加入を進める。
 - ・ 公共施設などで森林に関するパネルや木製品の展示。
- ③ 森林の保全
- ・ 森林を有効に利活用できる仕組みづくり。
 - ・ 計画的な森林整備の実施

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期	中期	長期
		(平成 26～28 年度)	(平成 29～31 年度)	(平成 32～34 年度)
① 森林産業の創出 ・ 公共事業による木材利用推進を行うことで木材の需要を広げる	・ 木材製品の企画立案	→ 関係機関との連携 →		
	・ 木材製品の作製	→ 随時作製 →		
	・ 木材製品の配布	→ 配布先の協議 →		
	・ 管理ができない森林は森林経営計画への加入を進める。	→		
	・ 公共施設などで森林に関するパネルや木製品の展示	→		

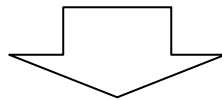
② 森林の保全	・森林を有効に利活用 できる仕組みづくり。 (保安林の施業要件 の見直しの働きかけ) ・計画的な森林整備 の実施			
---------	---	--	--	---

基本施策3 まちの魅力を向上させる産業
施策7 地域資源を活用する産業の振興

戦略 21 : 地域ブランドの創出

10年後の八王子の姿

- ・八王子ブランド・地域ブランドが創出されている。
- ・開発されたブランド品は、市内のみでなく、全国的に販売されている。
- ・八王子の物産や観光大使・キャラクターをはじめとする資源がブランドとして広く知られており、好評を博している。



活かすべき資源

- ・認定農業者を中心とした意欲ある生産者
- ・豊富な農地
- ・消費地に近い
- ・道の駅、農産物直売所、スーパー、量販店
- ・高尾山の存在
- ・都心からのアクセスの良さ
- ・市を代表するイベント
- ・観光大使が著名人

戦略の内容

- ① 八王子ブランド・地域ブランドの創出
 - ・製造業、商業、観光業、農業等の事業者や大学等と連携したブランド創出の推進
 - ・八王子産農産物など地域資源を活用した特産品や加工品の開発によるブランドの創出
- ② 八王子ブランドの選定・認定のしくみづくり
- ③ 新たな八王子のイメージを創出するイベント等の開催(市民や来街者による選出・認定等)
- ④ 取り組みを行う団体、事業者等への支援(商標登録の支援など)
- ⑤ イベントや観光大使・キャラクターを活用した八王子ブランドの知名度向上
- ⑥ 八王子ブランドを発信するための拠点の構築
- ⑦
- ⑧ 道の駅八王子滝山を拠点とした農産物直売所での販売強化
 - ・地場農産物を使ったブランド品のPR及び販売

【戦略を実現するための主な事業スケジュール】

戦略の内容	平成 25 年度	短期 (平成 26～28年度)	中期 (平成 29～31年度)	長期 (平成 32～34年度)
①八王子ブランド・地域ブランドの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業、商業、観光業、農業等の事業者や大学等と連携してブランド創出の推進 ・八王子産農産物など地域資源を活用した特産品や加工品の開発によるブランドの検討 		<p>順次拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八王子産農産物など地域資源を活用した特産品や加工品の開発によるブランドの創出 	<p>順次拡大</p>
②八王子ブランドの選定・認定のしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子ブランド選定・認定制度の検討 		<ul style="list-style-type: none"> 八王子ブランド選定・認定制度の実施 	
③取り組みを行う団体、事業者等への支援(商標登録等の支援)		<ul style="list-style-type: none"> ・地域商標登録等の支援 		
④新たな八王子のイメージを創出するイベント等の開催(市民や来街者による選出・認定等)	<ul style="list-style-type: none"> ・T-1グランプリ等のイベントへの協力 			
⑤イベントや観光大使・キャラクターを活用した八王子ブランドの知名度向上	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子の観光大使・キャラクターとの協働によるPRの強化 		<p>順次拡大</p>	
⑥八王子ブランドを発信するための拠点の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランドを発信するための拠点の検討 ・道の駅八王子滝山の農産物直売所等を活用したブランドの発信 		<ul style="list-style-type: none"> ブランドを発信するための拠点の整備 <p>順次拡大</p>	